

外国人宿泊客の消費がもたらす 県内産業への経済波及効果について

平成24年10月30日

大分県企画振興部 統計調査課
観光・地域局 観光・地域振興課



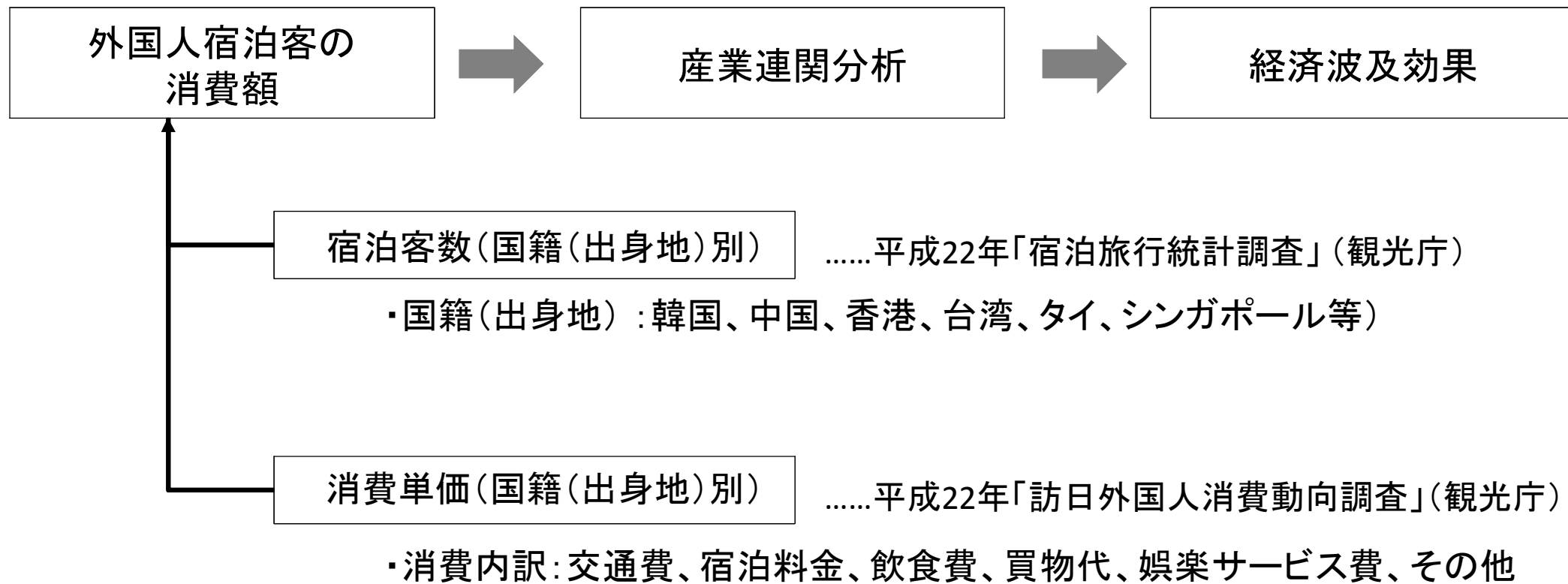
1. 経済波及効果の流れ

- ① 最終需要(消費、投資等)が発生する。
- ② 最終需要をまかなうための生産が誘発される。
(直接効果)
- ③ ②の生産に必要な原材料等が生産され、生産が生産をよんで、県内の各産業の生産が誘発される。
(第一次間接波及効果)
- ④ 生産の誘発(②と③)により、新たな雇用者所得が生じる。
- ⑤ ④で生じた雇用者所得から新たな消費が発生し、そこからさらに生産が誘発される。
(第二次間接波及効果)

経済波及効果 = 直接効果 + 第一次間接波及効果 + 第二次間接波及効果



2. 経済波及効果推計の考え方



※ 消費額 = 延べ旅行者数 × 一人一日あたり消費単価



3. 延べ宿泊客数、一人一日あたり消費単価、総消費額

		計	国籍(出身地)						
			韓国	中国	香港	台湾	タイ	シンガポール	その他
延べ宿泊者数(人)(a)		393,165	242,594	12,309	3,692	14,204	2,263	2,523	115,580
一人一日あたり消費単価(円)(b)			22,780	36,820	28,750	25,387	33,266	34,498	24,851
内訳	交通費		2,454	2,164	2,653	1,712	3,806	3,080	3,585
	宿泊料金		6,952	5,861	7,247	5,884	8,346	10,118	7,515
	飲食費		5,126	4,643	6,211	4,458	8,267	6,157	5,099
	買物代		6,557	20,412	11,244	9,964	11,860	11,923	6,709
	娯楽サービス費		1,158	2,977	1,176	1,733	775	3,031	1,299
	その他		533	763	219	1,637	211	189	643
総消費額(百万円)(c)=(a)*(b)		9,481	5,526	453	106	361	75	87	2,872

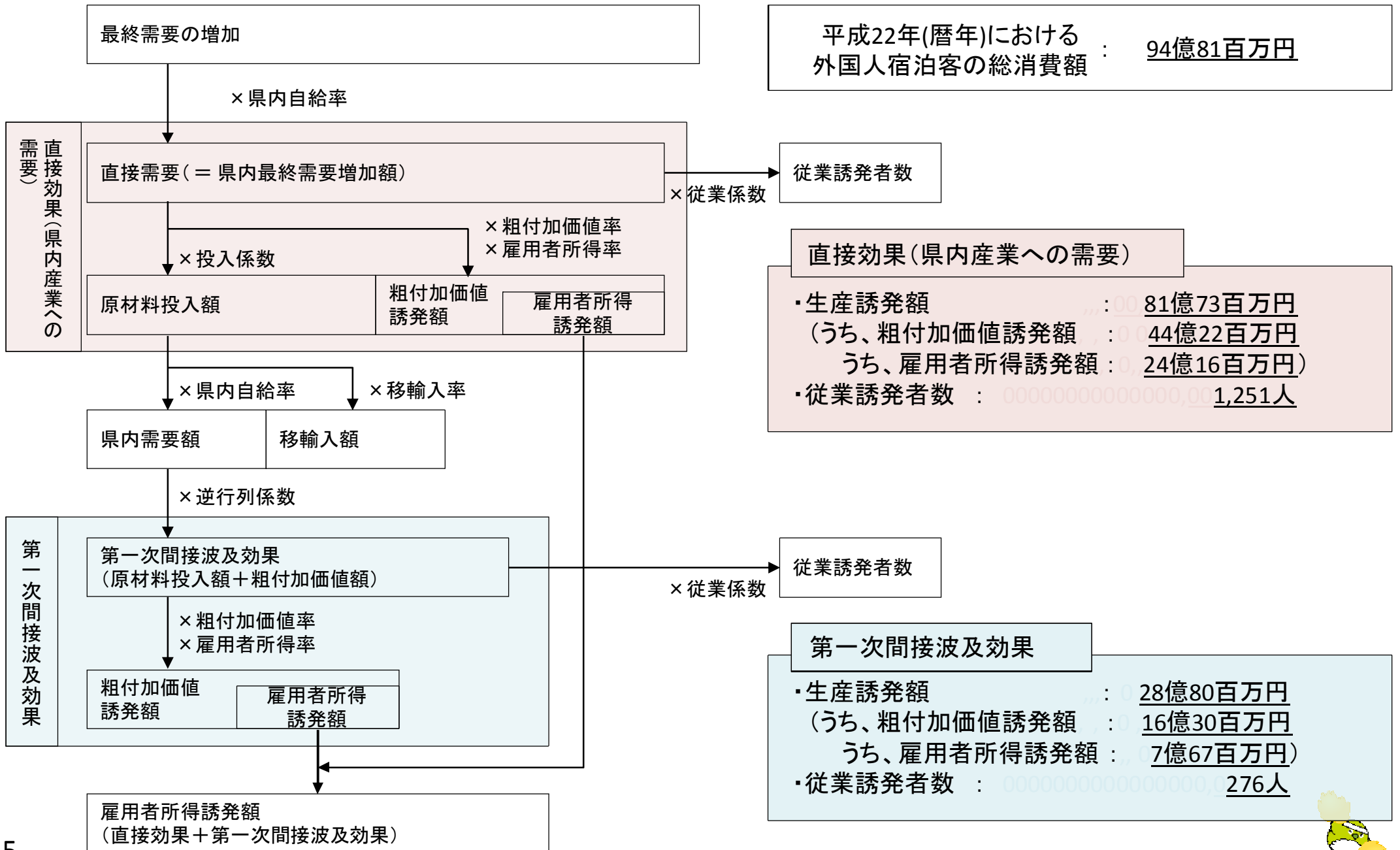
※端数処理の関係上、各欄の内訳と計は一致しない場合がある。

※「国籍(出身地)」の「その他」は、その他の国籍(出身地)及び国籍(出身地)不詳。

- 延べ宿泊者数:平成22年「宿泊旅行統計調査」(観光庁)の大分県値から推計。
(参考:県内における外国人宿泊客(全体)の平均宿泊日数は約1.17泊と推計される。なお、同調査には、国籍別の宿泊日数は公表されていない。)
- 一人一日あたり消費単価:平成22年「訪日外国人消費動向調査」(観光庁)から推計。なお、都道府県別の数値が公表されていないため、全国値を用いた。



4. 推計結果の概要 ①



平成22年(暦年)における
外国人宿泊客の総消費額 : 94億81百万円

直接効果(県内産業への需要)

- 生産誘発額 : 81億73百万円
(うち、粗付加価値誘発額 : 44億22百万円
うち、雇用者所得誘発額 : 24億16百万円)
- 従業誘発者数 : 1,251人

第一次間接波及効果

- 生産誘発額 : 28億80百万円
(うち、粗付加価値誘発額 : 16億30百万円
うち、雇用者所得誘発額 : 7億67百万円)
- 従業誘発者数 : 276人



4. 推計結果の概要 ②

(再掲) 雇用者所得誘発額
(直接効果 + 第一次間接波及効果)

× 消費転換係数

消費支出額

× 消費支出構成比

× 県内自給率

× 移輸入率

県内需要額

移輸入額

× 逆行列係数

第二次間接波及効果
(原材料投入額 + 粗付加価値額)

× 粗付加価値率

× 雇用者所得率

粗付加価値
誘発額

雇用者所得
誘発額

第二次間接波及効果

- ・生産誘発額 : 16億07百万円
(うち、粗付加価値誘発額 : 10億56百万円
うち、雇用者所得誘発額 : 4億17百万円)
- ・従業誘発者数 : 147人

第二次間接波及効果

従業誘発者数

× 従業係数

経済波及効果 (= 直接効果 + 第一次間接波及効果 + 第二次間接波及効果)

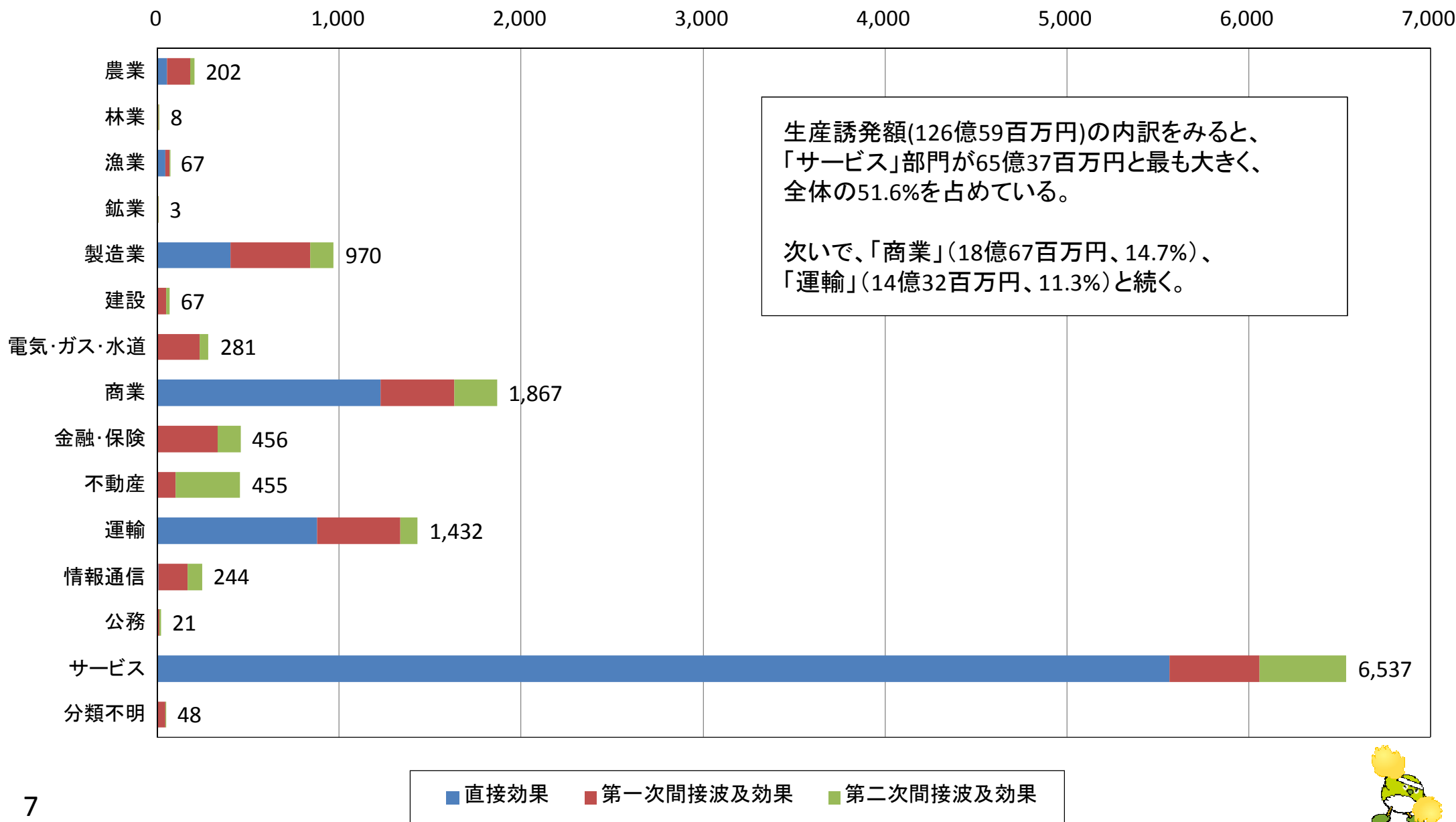
- ・生産誘発額 : 126億59百万円
(※直接効果に対する波及倍率: 約1.55倍)
(うち、粗付加価値誘発額 : 71億07百万円
うち、雇用者所得誘発額 : 36億00百万円)
- ・従業誘発者数 : 1,675人



5.生産誘発額 ① 部門別内訳

外国人宿泊客の消費は、どのような部門に、どれだけの生産額を直接・間接に誘発したか

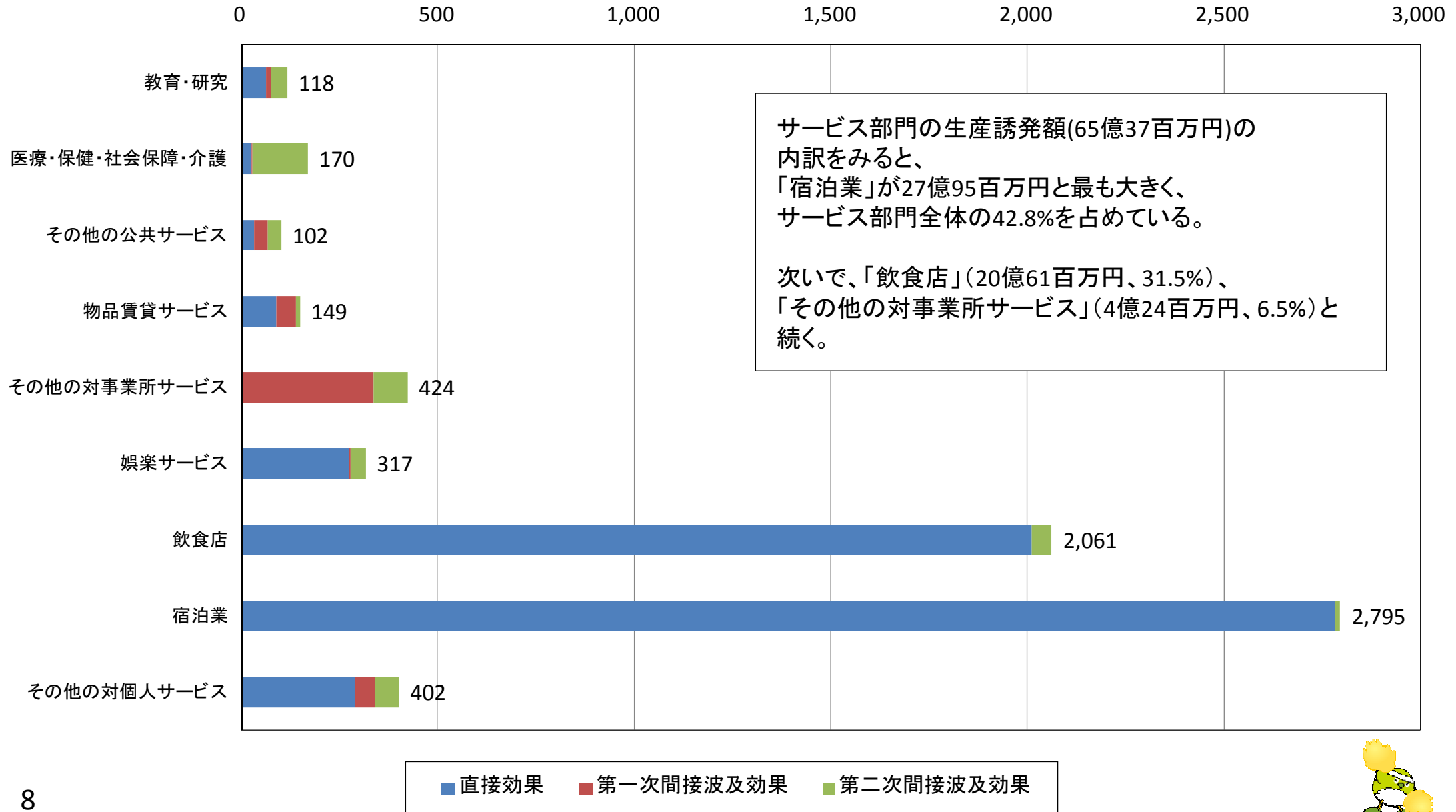
(単位:百万円)



5.生産誘発額 ② サービス部門の内訳

外国人宿泊客の消費は、どのような部門に、どれだけの生産額を直接・間接に誘発したか

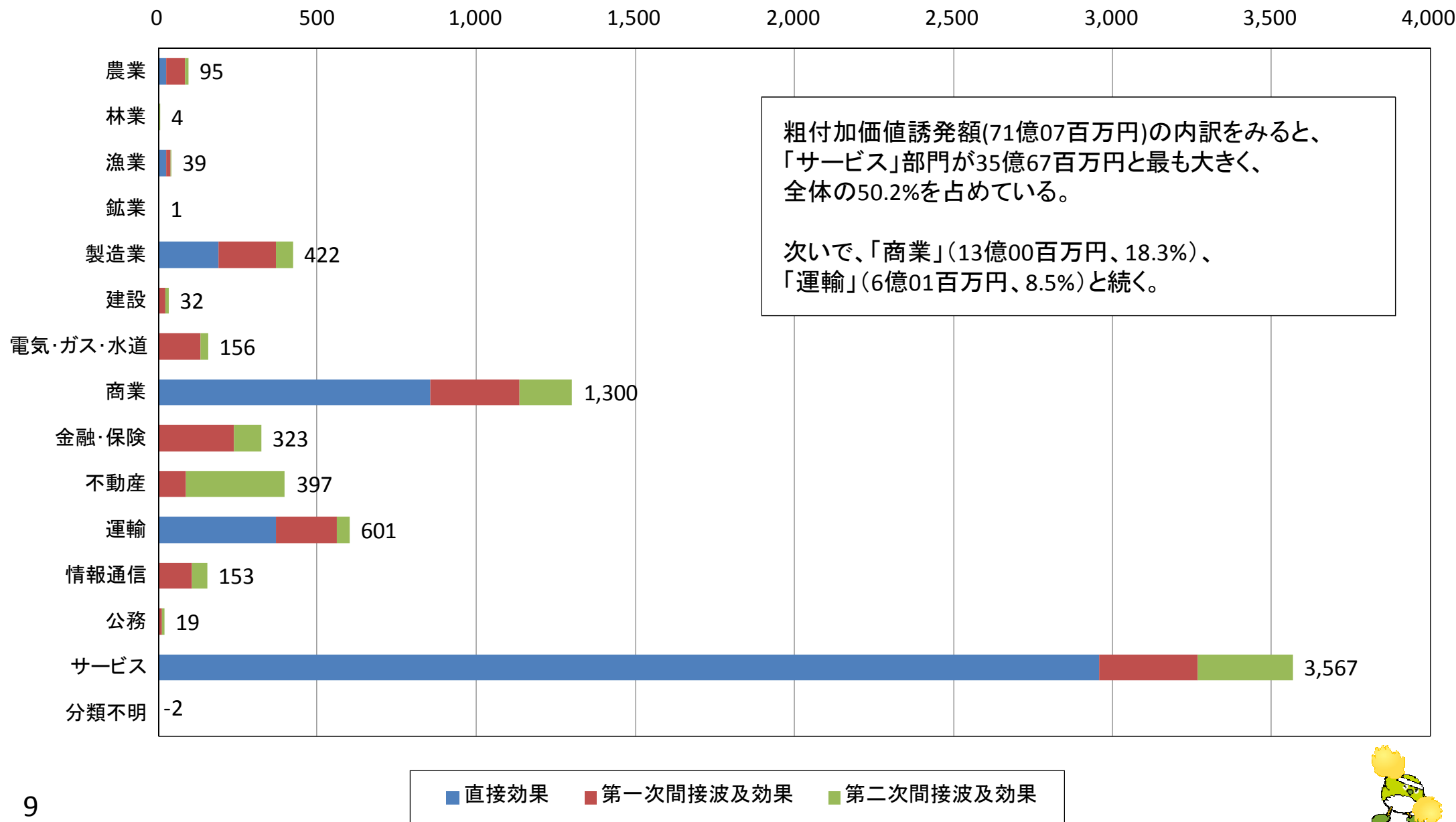
(単位:百万円)



6.粗付加価値誘発額 ① 部門別内訳

外国人宿泊客の消費は、どのような部門に、どれだけの粗付加価値額を直接・間接に誘発したか

(単位:百万円)

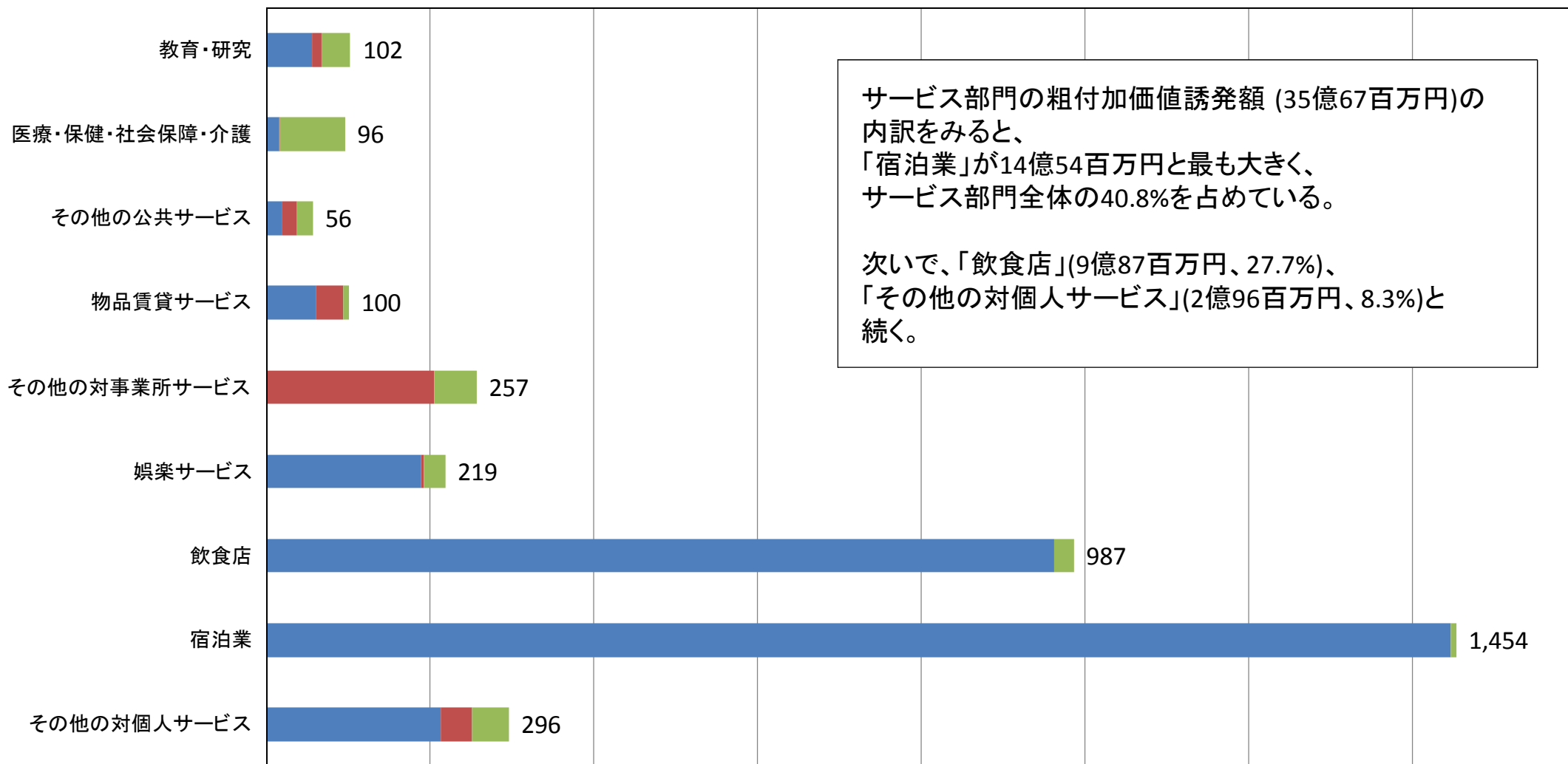


6.粗付加価値誘発額 ② サービス部門の内訳

外国人宿泊客の消費は、どのような部門に、どれだけの粗付加価値額を直接・間接に誘発したか

(単位:百万円)

0 200 400 600 800 1,000 1,200 1,400 1,600



サービス部門の粗付加価値誘発額 (35億67百万円)の内訳をみると、「宿泊業」が14億54百万円と最も大きく、サービス部門全体の40.8%を占めている。

次いで、「飲食店」(9億87百万円、27.7%)、「その他の対個人サービス」(2億96百万円、8.3%)と続く。

■ 直接効果 ■ 第一次間接波及効果 ■ 第二次間接波及効果

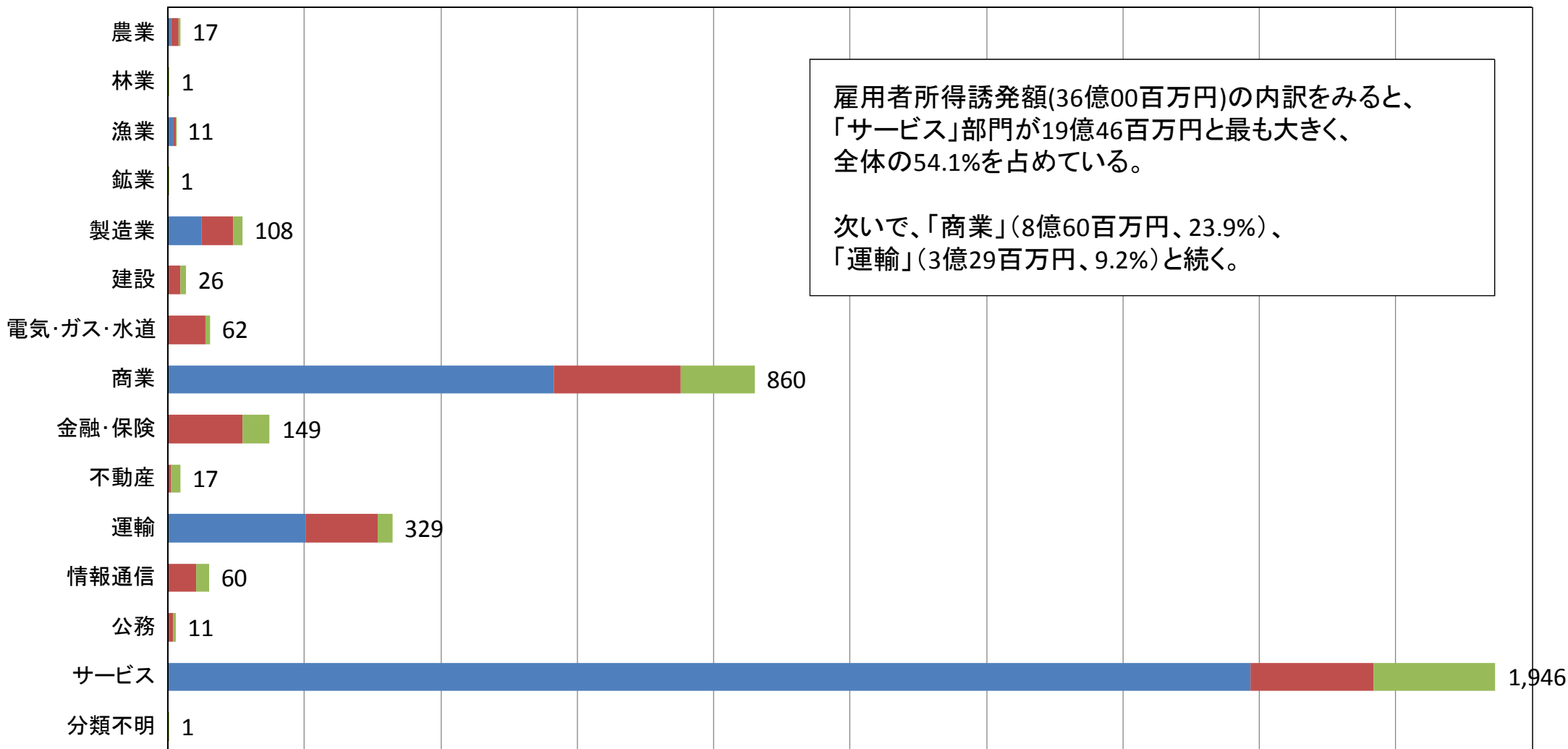


7.雇用者所得誘発額 ① 部門別内訳

外国人宿泊客の消費は、どのような部門に、どれだけの雇用者所得を直接・間接に誘発したか

(単位:百万円)

0 200 400 600 800 1,000 1,200 1,400 1,600 1,800 2,000



雇用者所得誘発額(36億00百万円)の内訳をみると、「サービス」部門が19億46百万円と最も大きく、全体の54.1%を占めている。

次いで、「商業」(8億60百万円、23.9%)、「運輸」(3億29百万円、9.2%)と続く。

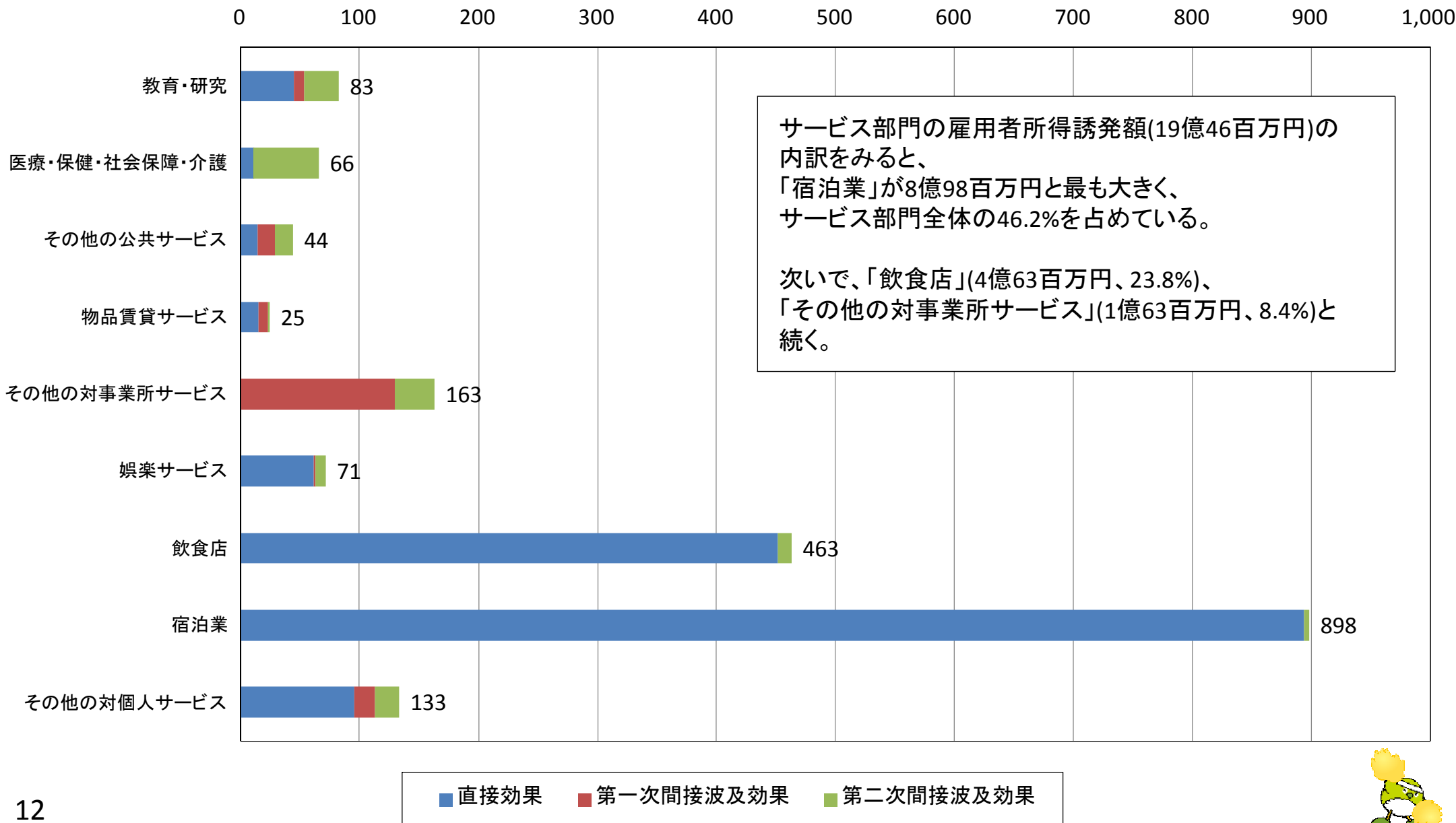
■ 直接効果 ■ 第一次間接波及効果 ■ 第二次間接波及効果



7.雇用者所得誘発額 ② サービス部門の内訳

外国人宿泊客の消費は、どのような部門に、どれだけの雇用者所得を直接・間接に誘発したか

(単位:百万円)

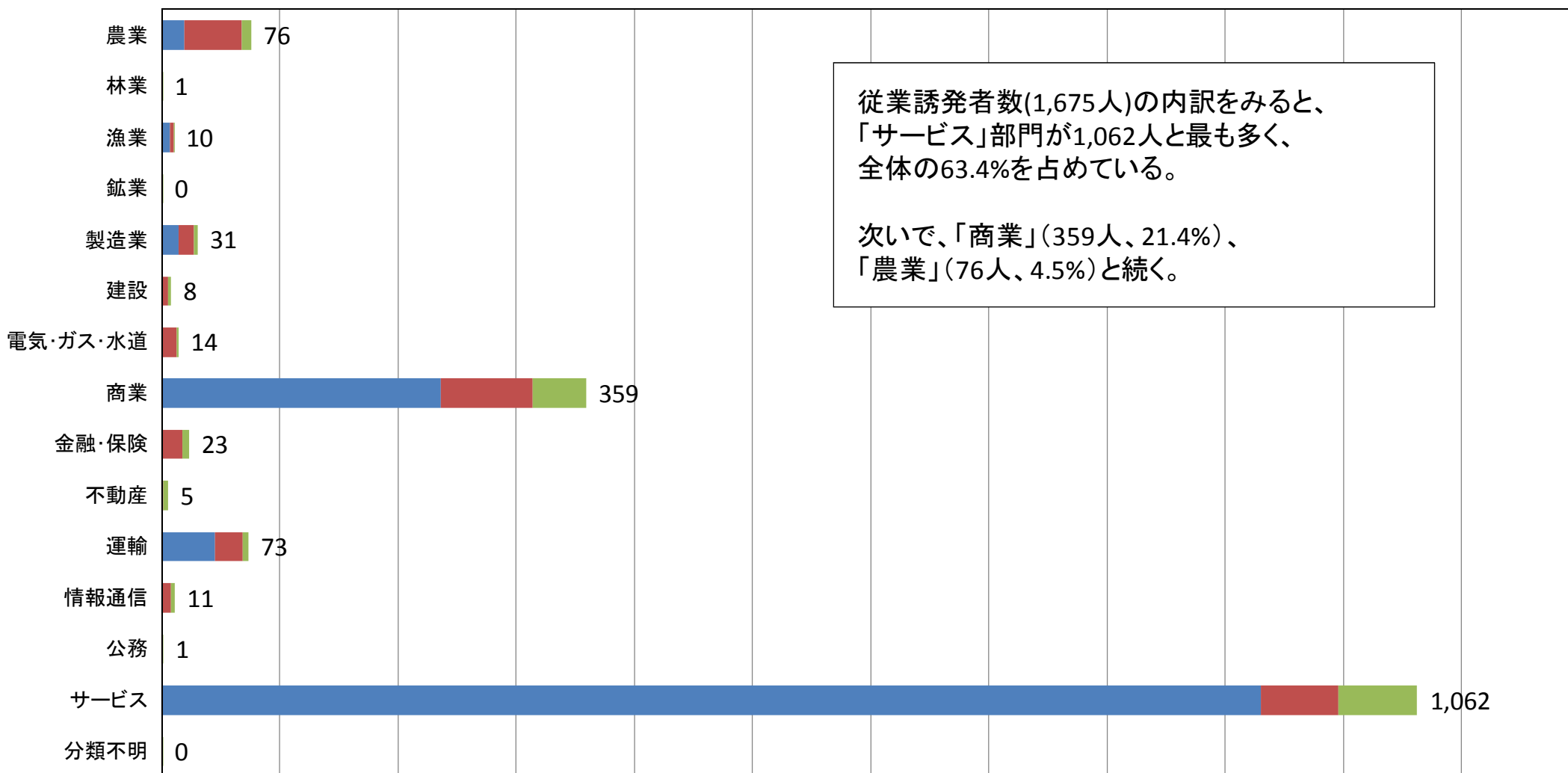


8. 従業誘発者数 ① 部門別内訳

外国人宿泊客の消費は、どのような部門に、どれだけの従業者数を直接・間接に誘発したか

(単位:人)

0 100 200 300 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200



従業誘発者数(1,675人)の内訳をみると、「サービス」部門が1,062人と最も多く、全体の63.4%を占めている。

次いで、「商業」(359人、21.4%)、「農業」(76人、4.5%)と続く。

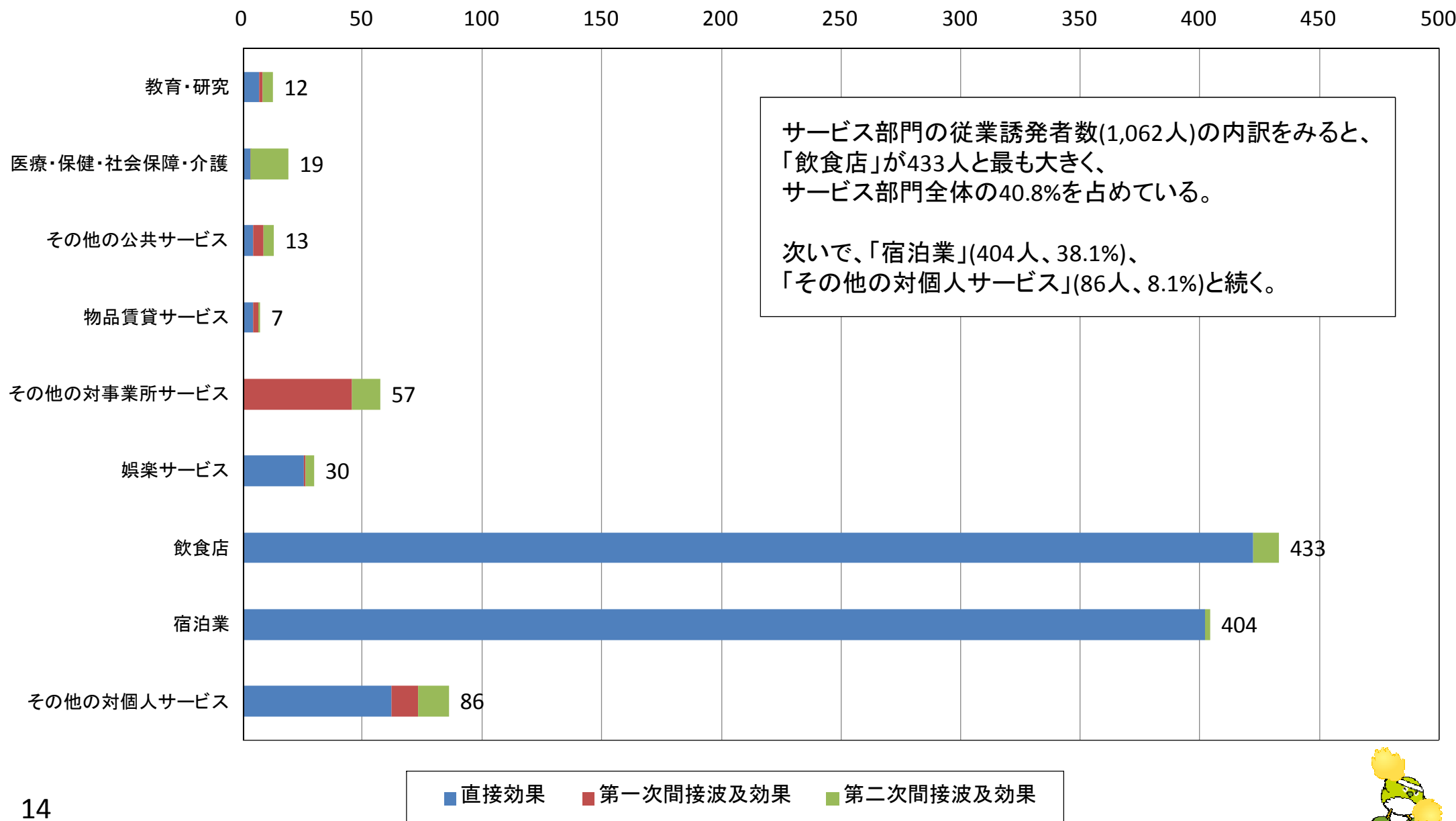
■ 直接効果 ■ 第一次間接波及効果 ■ 第二次間接波及効果



8. 従業誘発者数 ② サービス部門の内訳

外国人宿泊客の消費は、どのような部門に、どれだけの従業者数を直接・間接に誘発したか

(単位:人)



(参考) 用語解説

直接効果	消費額のうち、県内の財・サービスへの需要にあてられる額
第一次間接波及効果	直接効果で発生した県内の財・サービスへの需要に必要な原材料の生産が生産をよんで、県内の各産業の生産が誘発される効果
第二次間接波及効果	直接効果、第一次間接波及効果で発生した雇用者所得が消費にあてられることで、さらに生産が誘発される効果
生産誘発額	直接効果と第一次間接波及効果、第二次間接波及効果を合計した生産額で、消費額(最終需要)から誘発されたすべての生産額
粗付加価値誘発額	「生産誘発額」の生産によって生じる粗付加価値額。 粗付加価値とは、生産活動によって新たに付け加えられた価値をいい、中間投入に粗付加価値を加えたものが県内生産額となる。
雇用者所得誘発額	「生産誘発額」の生産に従事する雇用者の所得
従業誘発者数	直接効果をまかなうために直接・間接に誘発された従業者数

